

総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会小委員会の設置について

分科会等名：持続可能な開発目標達成のための洋上風力発電開発検討小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>欧米など諸外国においては、洋上風力発電の開発が進み、再生可能エネルギーの主翼を担う存在となっている。日本においても洋上風力発電の開発が進められている。</p> <p>日本のような活動縁辺域は、急峻な海底地形で大陸棚が狭く、開発地域は限定される。さらに、海底の液状化、泥火山などの沿岸域での海底地質リスクがある。それについては、第25期総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会において「見解」として意思の表出を公表した。</p> <p>洋上風力発電の持続的な運用には、開発者が海底地質リスクの存在を認識し、適切な計画の上で開発を実施することが必要となる。そのため、専門家、開発者が集まる国際シンポジウムを開催すること、開発のためのガイドラインを審議することを目的として本小委員会を設置する。</p>
4	審議事項	<p>1. 海底地質リスクの専門家、洋上風力開発者が集まる国際シンポジウムの開催</p> <p>2. 持続可能な開発目標達成に向けた洋上風力発電開発のためのガイドライン作成に関すること</p> <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年4月23日～令和8年9月30日
6	備考	<p>第25期の実績は以下のとおり。</p> <p>公開シンポジウム：</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年6月3日「活動的縁辺域における洋上風力開発に向けて」 <p>意思の表出：</p> <ul style="list-style-type: none"> 見解「活動的縁辺域における持続可能な洋上風力発電開発に向けて－海底地質リスク評価の重要性－」(令和5年9月22日公表)